

# みんなの議会 おおさと

定例会

12月 3月

8月 8月

町花：つつじ

令和8年5月1日

No. 222



築館公園

桜満開

桜の下で決まる  
まちの一步

公園巡り



大窪城址公園



支倉常長メモリアルパーク

- p.2 令和8年度予算
- p.6 25項目の意見を町当局へ提言
- p.12 教育長と座談会
- p.14 10名が町政を質す（一般質問）
- p.27 追跡レポート

# 子育て応援、定住促進へ 56億5700万円

令和8年度 一般会計予算



▲子育てを地域で支える

## 子育て応援・教育

- 保育事業負担金 1億9953万円
- 小・中学校給食費・こども園主食費等無償化 3528万円
- 通園通学バス運行経費 6458万円
- 保育料無償化事業補助金 1491万円
- すこやか子育て医療費助成 (0~18歳まで) 3332万円



▲河川敷の整備が進む

## 災害復興関連事業

- 防災緑地整備工事 3640万円
- かわまちづくり事業 7024万円
- 防災住環境整備支援事業補助金 150万円



▲希望もてる米作りを

## 農業振興

- 農業振興総合補助金 1000万円
- 多面的機能活動組織交付金 4184万円
- 環境保全型農業組織等交付金 961万円



▲ごみ出し支援事業スタート

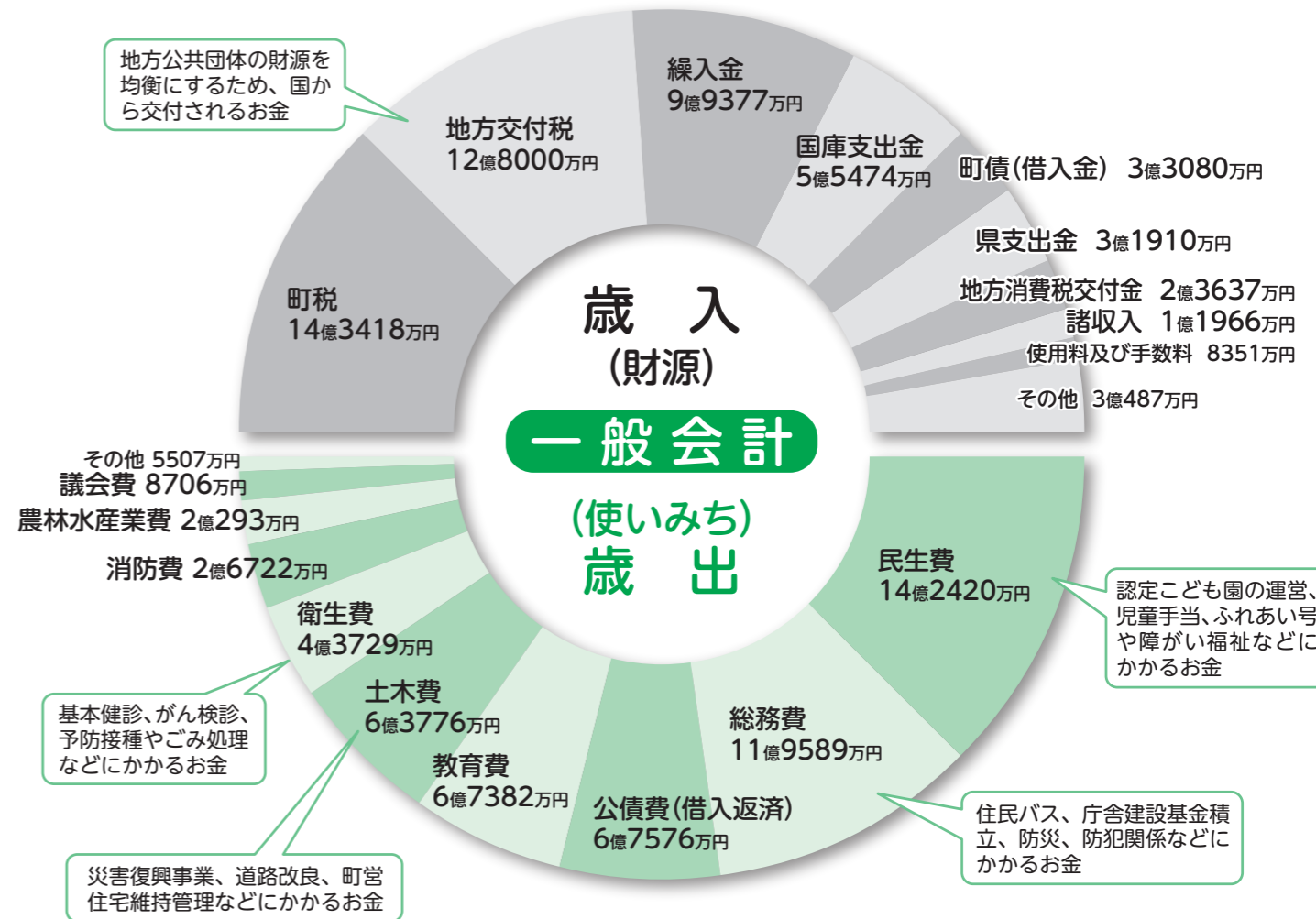
## 生活環境支援

- 高齢者の外出支援事業「ふれあい号」 608万円
- 住民バス指定管理料・公金徴収業務 4387万円
- ごみ収集・焼却処理 1億8038万円
- 高齢者等ごみ出し支援事業補助金 132万円
- 町道維持・除草業務等 3093万円

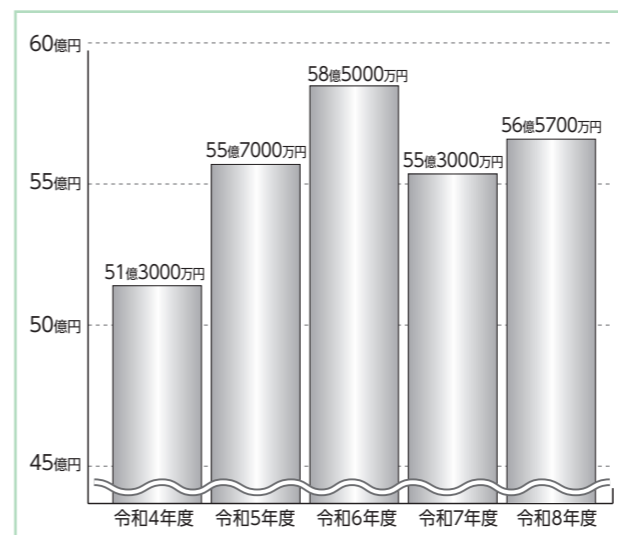


## 移住定住促進

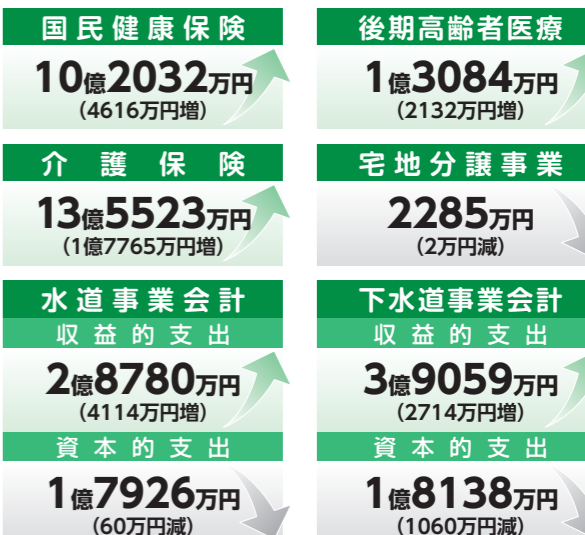
- 地域おこし協力隊関連費用 1898万円
- 若者・子育て世代定住促進奨励金 (固定資産税相当額助成) 1145万円
- 住宅リフォーム助成 250万円



### 一般会計予算(当初)の推移



### 特別会計・事業会計予算(対前年比)



# 一般会計・特別会計・事業会計予算

# 徹底検証



佐々木和夫 委員長

令和8年度の予算を審査するため、特別委員会を設置、7日間にわたり各課ごとに質疑応答を行い、慎重審議・検証しました。

本会議では委員会審査報告、その後採択、一般会計および各種会計を可決しました。

## 雨水排水対策事業

**問** 内容は。  
**答** 文化会館西側からフラップ大郷21付近に埋設した地下排水管修繕の設計を行う。

## 給食センター蒸気配管工事

**問** 内容は。  
**答** センター内の蒸気配管がかなり傷んでいるため総入れ替えする。

## 町民体育館解体工事

**問** 工期は。  
**答** 6月から最短6カ月、長くても8カ月の見通し。



▲約50年間、地域のスポーツ交流の場

## 広告収入

**問** フラップ大郷21に大型看板を設置して広告収入を得ては。  
**答** 検討を進めていく。



▶新たな財源確保のために

## 新庁舎基金積立

**問** 資材高騰があり、積立金で充分なのか。  
**答** 基金だけが財源ではなく、交付税や補助金等の活用も検討している。

## ミスベで乾杯

**問** 気球イベントの内容は。  
**答** 気球は2基用意し、当日夜にナイトグロイリュージョン(夜間係留)を実施。翌朝の体験搭乗会は、2時間程度で200名弱を予定している。



▶大盛況となったミスベで乾杯

## A1型ドリル

**問** 使用する場面は。  
**答** 授業で使用。習熟度に合わせて出題機能を備えており、自主学習での使用も考えている。



▶子育て世帯の負担を軽減

## 消火栓ホース格納箱

**問** なぜ撤去するのか。  
**答** 格納箱やホースの経年劣化による。また、使用頻度を精査した結果、ほとんど使用していない状況であるため。



▶劣化がみられる格納箱

## 石綿セメント管更新

**問** 見通しは。  
**答** 排水管が約7〜8km、送水管が約2kmある。毎年500m対応の予算で、あと約18年かかる見込み。

## ふれあい号運行管理

**問** 月10回以上の利用を希望する声がある。  
**答** 利便性を望む方もいる。今後、大郷町地域公共交通協議会の中で検討していく。



▶利便性の向上を

## おおさと秋まつり

**問** 内容は。  
**答** 令和5年度に開催した周年祭りのイメージ。花火の打ち上げも検討している。

## 危険ブロック除去

**問** 補助金アップの検討は。  
**答** 令和8年度は上限額を18万7000円から37万5000円に増額。撤去後の生垣等の新設にも10万円上限で補助する。



▶危険ブロック塀の解消を

## 地域おこし協力隊サポート

**問** サポートとは。  
**答** 隊員の悩み相談や目標に到達するための専門的なアドバイスなど。

## 定期予防接種

**問** こどもインフルエンザ接種の助成額は。  
**答** 1回当たり2000円を助成。

## 介護保険料

**問** 現行の保険料は高いとの声がある。  
**答** 高いのは承知しているが、少子高齢化で今後も上昇は避けられない。

## 農業振興総合補助金

**問** 機械購入に対する補助は。  
**答** 令和8年度要望は、7者で14種類。トラクター、コンバイン、ドローンなど。



▲農業機械の導入

予算審査特別委員会で7日間審議し、現地調査を踏まえ、25項目の意見を町当局へ提言した。

強化 ふるさと納税対策を

目標額を高く掲げ、ふるさと納税の増収に努められたい。

問 次年度は返礼品の米を確保すると聞いていたが。

答 農業法人に先行予約に関して協力を図っていく考えである。

強化 町道の維持管理

区画線の整備や路面補修など、町道の維持管理強化に努められたい。

問 町道の白線や、「止まれ」の標示が薄いところがある。

答 パトロールを実施し、維持管理について計画的に進めていきたい。

強化 児童生徒の体力向上を

児童・生徒の学力及び体力向上に努められたい。

問 どのように体力をつけさせていくのか。

答 冬場でも天気の良いときには子どもたちが外で遊ぶようになってきた。体を動かすように呼びかけていく。

見直し 公共交通対策

住民バスの運行経路と車両更新を、総合的に検討されたい。

問 バスを新たに購入するより、リースがいいのでは。

答 改めて精査し、今後どの方法がいいか考えていかなければならない。

強化 粕川地区防災コミセン

粕川地区防災コミュニティセンターの利便性向上に努められたい。

問 利用申請はFAXやメールでも受け付けを。

答 オンラインによる申請システムも検討していた。ご意見を伺いながら検討していく。

推進 遊休農地

遊休農地の解消に向けた取り組みを推進されたい。

問 解消のため、どのような活動をしているのか。

答 町内の農地を確認し、耕作していただくように声掛けを行っている。



強化 新規農業参入者へ支援を

新規農業参入者へ支援策のさらなる拡充を図られたい。

問 就農希望者の困りごととは何か。

答 初期投資が高いハードルとなっている。町や県でどのように支援できるか確認し、対応していく。

見直し かわまちづくり事業

かわまちづくり事業は、慎重に進められたい。

問 他自治体の水害からの復旧について情報入手し、検証を。

答 慎重に進めていく。

強化 消防団の強化

地域防災力の要である消防団員の人員確保強化に努められたい。

推進 移住・定住促進対策

移住・定住を促進するため、各種補助制度の周知に努められたい。

見直し ふれあい農園

ふれあい農園の運営・管理について検討されたい。

問 農園の土地を町で購入してほしいとの声がある。

答 町では農地を所有できない。どのような方法がよいか検討していく。

見直し 緑の郷の活用

緑の郷の有効活用を図られたい。

問 今後の見通しは。

答 指定管理者の応募がない。施設ごとの活用も視野に入れ検討していく。



推進 河川の適正な管理を

町管理の河川について、適正な管理を行われたい。

強化 税の収納率

税の収納率向上を図られたい。

推進 ゴミ出しの周知・指導を

ゴミ出しルールの周知・指導に努められたい。

推進 高齢者等ごみ出し支援

高齢者等ごみ出し支援事業の運用周知に努められたい。

問 衛生組合役員の都合により、ゴミ搬出ができないこともある。

答 各地区の実情に応じて協力体制をつくってほしい。

推進 各種検診の受診率

各種検診受診率の向上に努められたい。

推進 高齢者在宅福祉事業の周知を

高齢者在宅福祉事業の利用促進周知に努められたい。

推進 無形文化財

無形文化財の伝承に努められたい。

問 町全体で継承を。

答 今後、保存、継承について積極的に進めていく。

強化 鳥獣被害の対策

鳥獣被害の対策強化を図られたい。

一般議案は同意 1 件、条例の一部改正 4 件、条例の廃止 1 件、基本計画の策定 1 件、条例の制定 2 件、委発 2 件について審議し原案どおり可決しました。

《一般議案》



- 議案第7号** 障害者医療の助成に関する条例の一部改正について  
 全国の各自治体で取り組む基幹システムの標準化に伴い統一するもの。
- 議案第8号** 母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について  
 全国の各自治体で取り組む基幹システムの標準化に伴い統一するもの。
- 議案第9号** 森林等における火入れの規制に関する条例の一部改正について  
 令和7年2月26日の大船渡の林野火災を受け、協議会で協議の上改正したもの。
- 議案第10号** 道路占用料条例の一部改正について  
 道路法施行令の一部法改正に伴うもの。
- 議案第11号** 東日本大震災復興基金条例の廃止について  
 平成24年3月6日設置の東日本大震災復興事業に充当する基金積み立ての残高が今月（令和8年3月）をもってゼロになったため廃止するもの。
- 議案第12号** 過疎地域持続的発展計画の策定について  
 令和4年4月1日付過疎地域の指定をうけ、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法により、令和8年3月31日までの4年間を期間とした現行の計画満了のため、事業継続の期間を新たに設定し計画を更新するもの。
- 議案第26号** 乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準を定める条例の制定について  
 『こども誰でも通園制度』が令和8年4月1日から本格実施となることに伴い国の基準に沿った条例を制定するもの。なお、国の制度動向を常時把握し、必要に応じて対応するもの。
- 議案第27号** 特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について  
 議案第26号と同様に、『こども誰でも通園制度』に伴うサービス提供のルール等を定める条例を制定したもの。
- 委発第1号** 大郷町議会委員会条例の一部改正について  
 大郷町議会委員会条例の総務産業常任委員会の所割担当課について、令和6年4月1日上下水道課改正時期に、同条例の改正を逃し遅延したため今回改正するもの。
- 委発第2号** 町議会解散請求に関する調査特別委員会の設置について  
 町議会解散請求に関する調査を行うため設置するもの。

**強化** 旧桜井家住宅

旧桜井家住宅の利活用について、早急に方針を示されたい。

**推進** 特産品の開発

新たな特産品の開発に努められたい。

**推進** タブレット導入

タブレット導入を検討されたい。

**推進** 奨学金返済支援制度

奨学金返済支援制度の検討を進められたい。

**問** 支援制度の設定は。  
**答** 令和8年度中に方向性を決めていきたい。

**推進** 適正な料金改定

適正な料金改定を含む経営改善を迅速に図られたい。（水道事業会計）

**問** 事業継続のためには、料金改定が必要と考えるが。  
**答** 非常につらいところだが、知恵を出しながら事業推進していきたい。

討論

一般会計

**反対**

鎌田 暁史 議員

改善を要望する

令和6年度と令和7年度の一般会計予算に対する反対討論で指摘した事項の一部が反映されていない予算であることから、反対する。  
 水道料金の引き下げ、介護保険料の引き上げ抑制のため国への負担増要請の継続、農業への新規参入者を増やす取り組み、縁の郷の活用プラン検討、かわまちづくり事業内容の周知強化、通園バスの運行ルート改善、男女共同参画プランの成果指標に対する点検・評価など改善を要望して反対する。

**賛成**

熱海 文義 議員

新体制に期待

予算審査特別委員会においてさまざまな意見があった。それに対する答弁の中に、「必要とあれば、補正にて柔軟に対応していく」というものがあった。  
 誤りがあればすぐ正す姿勢に賛同し、町長の新しい発想に大いに期待し、1年をしっかりと見ていく。

総括質疑

熱海 文義 議員

副町長選任の考えは

**問** 副町長の選任を3月まで行うということであったが、今回の議案にないのはなぜか。

**答** 今年度中に選任し、新年度から新しい体制でいきたいと考えている。今定例会の最終日に提案予定である。

# 事業費確定による予算調整、熊対策など

令和7年度一般会計補正予算（第9号）は事業費の確定、工事の完了等による請差等の予算調整など2億6928万円を減額し歳入歳出それぞれ58億9036万5千円になり、原案どおり可決した。

## 減額 3063万円 ふるさと応援寄附金

問 なぜ減額になったのか。  
答 主力となる米を用意することができなかったことが1番の原因である。

## 減額 110万円 木造住宅耐震改修事業補助金

問 減額の理由は。  
答 ホームページ等で募集をかけたが、今回応募がなかった。  
補助額は令和8年度から15万円増額の1軒125万円。

## 107万円 熊緊急対策出役費

問 内容は。  
答 有害駆除に41万円。見回り、箱わなの撤去、車両借り上げ代、捕獲助成金など。緊急銃猟に係る経費で66万円。日当、捕獲助成金、弾代など。

## 293万円 農業振興費 消耗品費

問 内容は。  
答 危険鳥獣出没時の体制構築として、ゼッケン、ヘルメット、盾、小中学生550人と猟友会の方への熊鈴、熊スプレーなど。

## 700万円 果樹伐採業務(熊対策)

問 内容は。  
答 1本あたり最大で7万円の見積もり。令和7年度と8年度で400本を見込んだが、要望は280本。

## 基金残高

問 3月末時点の残高は。  
答 財政調整基金の残高見込みは9億3277万6千円、公共施設整備基金が6億7758万1千円。

【下記の補正予算を原案どおり可決しました】

令和7年度一般会計補正予算（第10号） 295万6千円を追加し、総額58億9332万1千円  
退職する職員分の退職手当組合負担金の計上。

令和7年度介護保険特別会計補正予算（第5号） 1万円を追加し、総額12億5709万5千円  
介護保険システム改修に係る繰入金と事務経費増に伴う財源調整。

令和8年度一般会計補正予算（第1号） 90万1千円を追加し、総額56億5790万1千円  
役場内のメールやスケジュール管理等ができるアプリケーションツールの導入に当たり、使用料等を増額補正。

人事案件



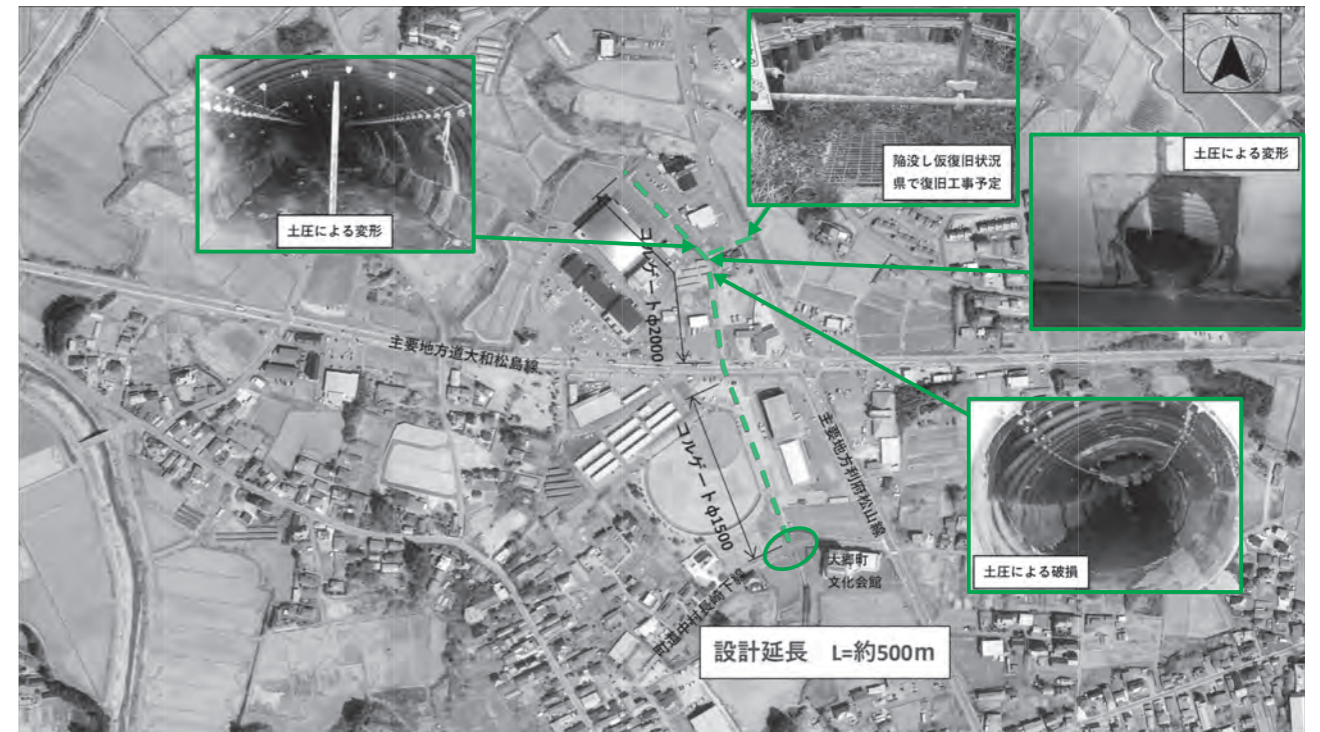
## 同意第1号 副町長の選任

たけだ りきや 武田 力也 氏（山崎）

〈任期〉令和8年4月1日から4年間



## 中村地区雨水排水改良事業



▲事業予定地の上空写真



▲3月17日 事業予定地を議会で視察

問 事業の内容は。  
答 野球場の南側からフラップ大郷21にかけて、約500mの雨水排水の暗きょがあり、改良を行う。令和7年度は基本設計を進めてきた。令和8年度は基本設計を基に工事に向けた実施設計を進める方針。

問 いつ頃に設置されたのか。  
答 約40数年前、周辺の造成工事の際に地下7mに直径約2mの「コルゲート管」を埋設した。現在、地圧により管が潰れたように変形している。修繕し、維持管理していく。

問 今回、調査測量設計で4400万円を計上。今後予算が膨らむことを心配するが。  
答 実施設計は積算基準通りの金額だが、なるべくお金をかけずに対応する方法はないか検討している。

※コルゲート管…波状構造を持つ軽量で強度の高い管材

## 第2回臨時会

### 議案第5号 工事請負契約の締結について

令和7年度粕川地区避難道路整備工事（第1工区）  
 仮工事請負契約金額：7587万8千円（うち消費税等額689万8千円）  
 工期：議決された日の翌日から令和8年11月30日まで

### 議案第6号 工事請負契約の締結について

令和7年度粕川地区避難道路整備工事（第2工区）  
 仮工事請負契約金額：5456万円（うち消費税等額496万円）  
 工期：議決された日の翌日から令和8年9月30日まで

### 議案採決結果一覧表

議案名 (略称)	採決結果	鈴木安則	赤間繁幸	鎌田暁史	鈴木利博	赤間則幸	佐々木和夫	鈴木恵子	金須新一	田中三恵子	熱海文義	高橋重信	石垣正博
議案第7号～12号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第13号	一般会計（第9号） 58億9037万円（2億6928万円↓）	可	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第14号	特別会計 国民健康保険（第4号）9億5553万円（6117万円↓）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第15号	特別会計 介護保険（第4号）12億5709万円（119万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第16号	特別会計 後期高齢者医療（第3号）1億2455万円（1326万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第17号	予算 水道事業会計（第5号） ①収益的支出：3億941万円（962万円↑） ②資本的支出：1億5952万円（2914万円↓）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第18号	下水道事業会計（第3号） ①収益的支出：4億465万円（3700万円↑） ②資本的支出：1億8332万円（866万円↓）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第19号	一般会計	可	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第20号	令和8年度当初予算 特別会計 国民健康保険	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第21号	特別会計 介護保険	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第22号	特別会計 後期高齢者医療	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第23号	特別会計 宅地分譲事業	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第24号	水道事業会計	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第25号	下水道事業会計	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意第1号	副町長の選任につき同意を求めることについて	可	無記名投票										-
議案第26号～27号		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第28号	補正予算 一般会計（第10号） 58億9332万円（296万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第29号	特別会計 介護保険（第5号） 12億5710万円（1万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第30号	補正予算 一般会計（第1号） 56億5790万円（90万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
委発第1号	町議会委員会条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
委発第2号	町議会解散請求に関する調査特別委員会の設置について	可	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第1号	専決処分の報告について	報告のみ											
議案第5号	工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第6号	工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

(↑)は増額、(↓)は減額 可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席  
 ※賛否同数でない限り、議長（石垣正博）は採決に加わらない

## 3/19

## 教育長と座談会

昨年12月に就任した関一男教育長を迎え、座談会を行いました。  
 教育長は、生涯学習の視点に立ち学校教育と社会教育が連携しながら、地域全体で人を育てていく必要性について述べられました。また、教員生活での経験や、これからの教育への思いについてのお話を伺いました。  
 意見交換では地域との関わりや人材育成などについて議員から、多くの質問が出され、充実した時間となりました。



▲役場第3委員会室にて

### 町議会解散請求に係る住民投票は中止

町議会解散請求の署名に関する裁判の判決が2月25日に仙台地裁で言い渡されました。地裁は、町選管が有効とした署名のうち12人分の署名を無効と認定しました。

町選管はこの判決を受け、2月26日に右に示すように、有効署名総数の修正を行いました。また、3月11日に、判決に伴い有効署名総数が法定数（有権者の3分の1）の2127筆に達しなくなったことにより、町議会解散請求に係る住民投票の中止を決定しました。住民投票については、令和7年4月8日に仙台地裁が執行停止を決定し、一時中断となっていました。

本件については、3月19日に設置した「町議会解散請求に関する調査特別委員会」の中で調査を進めていく方針としています。

#### 裁判の経緯と町選管の対応

令和7年3月18日	町議有志3名が町を提訴(決裁取消事件)
令和7年3月27日	町議有志3名が住民投票の執行停止を申立て
令和7年4月8日	仙台地裁が住民投票の執行停止を決定
令和7年4月18日	町選管が住民投票の延期を決定
令和8年2月25日	仙台地裁で判決(12人分の署名を無効と認定)
令和8年3月11日	町選管が住民投票の中止を決定

#### 町選管による署名審査結果の修正

署名の総数	2,510筆
法定数(有権者の3分の1)	2,127筆
有効署名の総数	2,123筆(当初2,135筆)
無効署名の総数	387筆(当初375筆)



# クマ対策における果樹伐採

## 早期に伐採を完了する(町長)

### 町長が掲げた施策

**問** 町長に就任して、約半年が経過した。立候補した時点で、6項目の重点施策を掲げている。

**答** 農林振興課長 要望のあった現場を確認したところ、280本前後としている。

**問** クマ出没対策の一環として、今後クマの餌となる果樹を伐採する取り組みを進めていくと聞いているが、詳細について伺う。

**答** 町長 県の補助金を活用して果樹等の伐採を早期に完了したい。

**問** どのくらい果樹伐採を見込んでいるのか。

**答** 町長 今回行っている試験的導入と同様、室内遊び場単体で集客するものではなく、他の施設との相乗効果が得られるものであること、そして既存資源を活用した効果的なものであることを念頭に置いた施設をしたい。

**問** 道の駅2階部分を試験的に室内遊び場として提供している。今後、どのような施設にしていくのか。

**答** 町長 過去2年間で、5地区5名の方が資格取得した。資格取得はあくまでも行政区の意向によるものと考えているので、引き続き周知に努める。

**問** 防災士の方々がどのように住民指導していくのか、担当課で明確なマニュアルを作成し、配布すべきではないか。

**答** 町長 「防災士の基本的役割」「平常時及び災害時の基本行動の考え方」等の活動指針を整理した基本フレームを示す。

きす しんいち  
金須 新一 議員



### 防災士の育成を

**問** 約2割の行政区しか防

**答** 町長 アンケートを実施し、児童・生徒や保護者の要望をしっかりと確認した上で、開始できるよう検討していく。



▲効果を期待する果樹伐採

次ページから一般質問

# 10名が町政を質す!



質問議員	質問件名	掲載ページ
きす しんいち 金須 新一 議員	1. 町長が掲げた施策について 2. クマ対策における果樹伐採について 3. 防災士育成の早期完結を	P 15
すずき やすのり 鈴木 安則 議員	1. SSP構想予定地の今後について 2. 消防水利の利便性について	P 16
ささき かずお 佐々木和夫 議員	1. 東北楽天ゴールデンイーグルス2軍誘致について 2. 道の駅おおさと及び開発センターの有効活用について 3. 空き家・空き地対策について	P 17
すずき けいこ 鈴木 恵子 議員	1. 町長の公約について 2. 文化会館を活かした地域活性化策を 3. 町議会解散の賛否を問う住民投票の裁判について	P 18
あかま のりゆき 赤間 則幸 議員	1. 賑わいのある町へ 2. クラブ活動の移行による、地域の負担は	P 19
かまだ あきふみ 鎌田 暁史 議員	1. 町議会の解散請求署名について 2. 施政方針における諸課題の取り組みについて 3. 町民の福祉向上について	P 20
すずき としひろ 鈴木 利博 議員	1. 不登校対策に介護の考えを 2. 使用済み天ぷら油の再利用を 3. 人口減少対策	P 21
あかま しげゆき 赤間 繁幸 議員	1. 公約のスーパーマーケット誘致について 2. 空き家対策について	P 22
たなか みえこ 田中三恵子 議員	1. 物価高騰支援対策について 2. 地域おこし協力隊について	P 23
たかはし しげのぶ 高橋 重信 議員	1. 大郷町の活性化は人口増である 2. 費用対効果がすべてではない 3. 造成工事を民間事業者へ委託	P 24



# 道の駅おおさとの有効活用

## 効率的・効果的な手法で(町長)

**問** 道の駅おおさとの2階は、キッズスペースとして活用されている。今後の利用拡大は。

**答** 町長 広報や河北新報等にも取り上げられたことで、広く知っていただいた。今後は、利用者の声を把握するよう努めるとともに、利用者ニーズに即した楽しめる空間を、効率的で効果的な手法により作り上げていく。

**問** 開発センターの利用状況と、今後の利用拡大をどのように図るのか。

**答** 町長 令和6年度の加工実習室の利用者657人、製粉乾燥室の利用者53人、精肉加工室は製粉室として使用しており、利用者199人である。

ささき かず お 議員  
佐々木 和夫



# SSP構想予定地の今後

## 前川地区は場整備事業へ再編入(町長)

**問** 第3回事業経過説明会において、町は意向調査結果を報告し、令和8年1月の意見交換会で基盤整備再編入の意向を示した。方向性が決定したということか所見を伺う。

**答** 町長 鶴田川沿岸土地改良区と相談した上で、県営ほ場整備事業へ編入する方針を決定し、2月27日・28日に地権者等を対象とした説明会を開催した。

**問** 基盤整備再編入時の条件を伺う。

**答** 農林振興課長 県に相談をしたところ、SSP構想予定地であった60ヘクタールに関わる地権者、耕作者全員が編入を希望することが条件で、そこから県は協議を開始する。

**問** 60ヘクタールの地権者

すずき やす のり 議員  
鈴木 安則



一般質問

**問** 空き家バンクの登録件数および情報収集方法は。

**答** 町長 バンク登録件数は16件で、登録手続中1件である。

情報収集については、広報紙やホームページをご覧いただいた所有者からの問い合わせを受け、聞き取り調査をした上でホームページに公開している。

### 空き家対策

**問** 大郷町をアピールできる商品開発をしては。

**答** 町長 必要性を認識している。継続的に販売できる商品を開発することが重要。町内の既存団体等からアイデアをいただきながら商品開発を進められるよう取り組んでいく。

**問** 施設を利用している方がいるので、現行の利用方法は当面継続するが、今後は様々な方から意見を伺いながら開発センターのあり方を検討していく。

一般質問

**問** および耕作者は何名か。

**答** 農林振興課長 今回行った説明会では、75名の方に通知をしている。

**問** 今年度中での100%同意というの可能性があるか。

**答** 農林振興課長 今そこに向けて動いている。

**問** 最終的に360ヘクタールの同意とあるが、戸数と所在がはっきりしているのか伺う。

**答** 農林振興課長 360ヘクタールについては、改良区が主導で対応すると認識している。

**問** 町長は意向調査について全て目を通しているのか。

**答** 町長 皆さまのご意見は全て確認している。

### 消防水利の利便性

**問** 大松沢上郷地区の荒井宅地エリアには公設水利がない。消火栓設置の予定はあるのか伺う。

**答** 町長 水道管の口径や給水能力、周辺の土地利用状況を踏まえ、総合的に判断していく。現時点で設置計画はない。



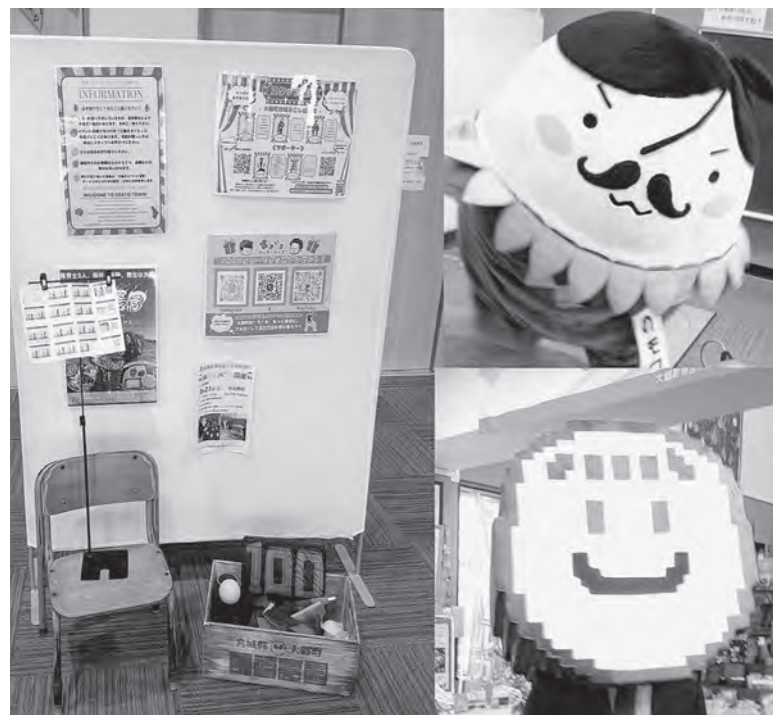
▲新設された消火栓

**問** 防火水槽の設置予定はあるか伺う。

**答** 町長 消防水利の空白区域の解消を図る観点から、設置の必要性について検討していく。

**問** 現状のまま自然水利を利用するのか伺う。

**答** 総務課長 様々な関係機関との協議を重ねた中で何が一番いいのか検討していく。



▲色々なアトラクションがあった2階のキッズスペース

**問** 令和6年に設立された全国空き家アドバイザー協議会大郷支部との連携は。

**答** 町長 空き家相談会を共同開催し専門的なアドバイスをいただいている。官民連携の取り組みを強化していく。

**問** 持ち家を更地にする住宅用地特例が適用されなくなる。税負担の増加を考慮し対策を講じることが重要と考えるが。

**答** 町長 固定資産税の負担が増加することが、空き家除却の阻害要因の一つであることは認識している。減免措置や補助金の創設、土地活用の促進策など、先進自治体の事例なども調査し、効果的な手法を検討していく。



# クラブ活動地域移行

## 人材確保と費用負担(教育長)

あかま 赤間 議員  
のりゆき 則幸 議員



**問** 中学校のクラブ活動が地域に移行されることにより教員の働き方が改善され教員の負担が減る半面、地域の負担が増えると思っております。指導者人材の確保等をどのように考えるか。

**答** 教育長 昨年7月に町部活動地域展開推進委員会を設置し、指導者の確保・運営方法の在り方・各種団体との調整等に取り組んでいる。

**問** 保護者の方々の費用負担が増えていくと思うが、町としての具体的なサポート体制をどのように考えるか。

**答** 教育長 今後は、地域の社会教育活動として事業を展開することになる。活動するための費用や指導者

**問** 粕川コミュニティセンターにおいて、地権者の方々の意見交換会が開催され、町長の意向が示された。年度末までに同意を得て、前に進めることが可能なのか伺う。

**答** 町長 第3回事業経過説明会での意見を踏まえ、鶴田川沿岸土地改良区と相場の整備事業へ編入する方針を決定し、地権者等を対象とした説明会を開催した。60ヘクタールの農地に関



▲地域に移行されるクラブ活動(大郷中学校野球部)

### ほ場整備の進捗

への謝金等についても、保護者への負担が伴うケースがあることを認識している。

**問** 具体的な、移行スケジュールや補助制度について伺う。

**答** 教育長 令和10年度中には中学校で「土日」の部活動を行わないことを目標にしている。

現在のところ補助制度はないが、今後財源の確保ができるよう情報の収集に努めていく。

わる全ての皆さんが、ほ場整備への編入を希望される結果となった場合、県において編入に向けての内部協議を開始すると伺っている。

**問** ほ場整備事業が困難となった場合どのような対策を講じていくのか、それとも、事業用地としての活用方法を考えていくのか。

**答** 町長 事業用地としての活用方法については、当該地域が農業用地であり、農地転用の手続きをすることで地域経済をけん引する企業が現時点ではない状況下にあるため、難しいと考えている。



# 高齢者世帯の支援強化

## 介護者の負担を軽減していく(町長)

すずき 鈴木 議員  
けいこ 恵子 議員



**問** 在宅介護手当支給制度の検討と今後の見通しは。

**答** 町長 県内の他自治体の導入状況を見ると、要介護4以上で介護サービスを利用せず在宅で介護する方という条件がほとんどである。より有益となる制度内容を精査しているところである。

**問** 高齢者世帯の支援強化の具体的な内容は。

**答** 町長 高齢者が安心して暮らすことができるよう既存の事業の継続をしていく。特に、在宅で介護している方に対する介護用品おむつ券支給額の拡充を図りたいと考えている。

**問** 町営学習塾の開設の今後の見通しは。

**答** 町長 学力向上のため夏期講習の実施や中学生の

受験対策として、冬期講習を開始したいと考えている。今後、児童・生徒や保護者の要望をしっかりと確認した上で、検討していく。

### 文化会館等で地域活性化策を

**問** 民間公演誘致の営業は行っているのか。

**答** 社会教育課長 令和8年度の事業で、公民館として寄席やギターのコンサートなど予定し、調整している。

**問** 縁の郷の再活用計画は。

**答** 町長 施設の在り方や有効な活用方法について、これまでとは異なる発想も含めて検討していく。

### 町議会 解散請求の裁判

**問** 解散請求制度は、住民の皆さんに認められた大切な権利であり、当初その民意を真摯に受け止めるべきと考えていた。署名の縦覧において、「署名審査は十分であったか」という点で疑念を持ち、司法の判断が

必要と思い、提訴した。今回の結果を踏まえ、これまでの経緯を町民の皆さんに報告するべきでは。

**答** 町長 これまでの経緯については、広報4月号発行時に報告予定である。

**問** 判決後、選挙管理委員会事務局は、委員に対し、どのような報告を行ったのか。

**答** 総務課長 有効から無効になった数を報告した。

**問** 判決文の内容は委員に見ていただいたのか。

**答** 総務課長 写しを渡している。

**問** 今回の裁判は、今後のために町として検証すべきでは。

**答** 総務課長 判決の内容を重く受け止めている。

※総務課長は選挙管理委員会書記長を兼務



▲さらなる交流の場に(文化会館)



# 使用済み天ぷら油の再利用を

## 本町に適した形を検討(町長)

**問** Co削減への取り組みとして、家庭内もしくは事業所から排出される「使用済み天ぷら油」に注目し、新しいエネルギーを作る循環型エネルギーについて伺う。

**答** 町長 提案については、環境負荷の低減や循環型社会の形成に資する重要な取り組みであると認識をしている。

今後は、他自治体の事例や民間事業者の取組状況を調査し、本町に適した形の導入の可能性について検討していきたい。

すずき としひろ  
鈴木 利博 議員



# 署名ルールの周知は不十分

## 選管の落ち度ではない(総務課長)

**問** 町議会の解散請求署名への対応で、選管の反省点、改善点は何か。

**答** 選挙管理委員長 判決を受けて何が不足していたのかを検証し、今後に生かしていく。

**問** 選管が無効とした署名のうち、代筆の要件を満たさない署名が130人分、同じ筆跡の署名が74人分あった。署名ルールの周知は、十分だったとはいえない。選管の落ち度では。

**答** 総務課長 請求代表者から伝えていただいたと認識している。落ち度ではないと判断している。

**問** 選管の事務局が行った署名の審査結果をチェックできない体制だった。役割分担を見直すべきでは。

かま だ あき ぶみ  
鎌田 暁史 議員



### 施政方針の諸課題

**問** 選挙管理委員長 しっかりと確認をしながらやってまいりたい。

**問** 裁判費用や被告側の弁護士費用をオープンにするべきとの声があるが。

**答** 町長 確定次第、議会に報告する。

### 一般質問

**問** 地域農業を支える担い手の育成、確保は。

**答** 町長 法人の新規雇用促進事業や定住促進事業、個人については、経営継承支援事業、免許取得支援事業など、様々なメニューを展開している。

**問** 上下水道事業での財務体質強化に向けた取り組みとは。

**答** 町長 企業債借入額の圧縮、他工事と併せた布設替工事の施工等による工事費削減、具体的な料金改定の検討を進めるための「水道料金改定業務」を予定。

**問** 事業見直しの詳細は。

**答** 町長 各種事業について、必要性や効果を十分精査・検証し、廃止も含めて

### 不登校対策に 介護の考えを

**問** 介護になった方への接し方は、十人十色であり、不登校においても同様の考えである。

不登校になってからの原因究明から、どのような対策を実施していく段階にあっても、なかなか実施されないことが不登校減少へと結びつかないものと考え、町としての不登校対策は。

**答** 教育長 初期段階の対応が重要となる。不登校の要因は、個人、学校、家庭と様々である。

学校ではタブレットによる健康観察などで児童・生徒の日々の変化に注意し、休みがちになってきた児童・生徒には、保護者と情報共有するなど、それぞれに合った対応や支援を行っている。

**問** できることは伸ばしてあげ、できない部分を補ってあげることが、不登校児童・生徒の尊厳を大事にするにより、信頼関係が築け、いずれは脱不登校へと発展していくものと考え

徹底した見直しをするように予算編成方針等で指示している。

### 町民の福祉向上

**問** 自宅にエアコンのない高齢者世帯に対し、エアコンの購入と設置に要する費用の助成制度が必要では。

**答** 町長 近隣自治体の制度内容や効果などを確認しつつ、導入の可能性を含め検討していく。

**問** 通園バスの運行ルートに対して改善の要望がある。

**答** 町長 毎年、こども園と運行事業者、保護者が一体となり、より効率的な運行計画を作成し運行している。

住民投票に必要な有効署名数の整理

	無効署名数	有効署名数
2025年1月 署名提出		2,510
2025年2月 選管決定	226	2,284
2025年3月 選管決裁	149	2,135
2025年3月1日付の選挙人名簿に登録されている者の3分の1		2,127
	無効署名数	有効署名数
裁判所が有効→無効と判定	12	2,123

▲必要な署名数を4人下回る

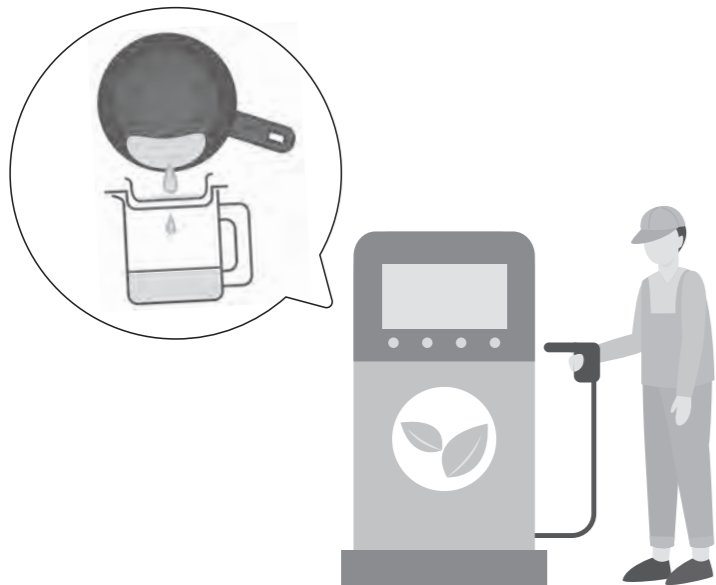
### 人口減少対策

**問** 今までの人口減少の対策は、期待できる結果になっていない。その原因と今後の対策について所見を伺う。

**答** 教育長 学びの多様性を重視し、心のケアを大切にしながら、児童・生徒の支援にあたっている。

**答** 町長 人口減少の主な要因は、少子高齢化による自然減に加え、進学、就職に伴う若年層の転出による社会減が主な要因と考えられる。

今後は、単なる定住促進だけでなく、関係人口の創出や町内産業の振興による働く場の確保、そして安心して子育てできる環境の整備を推し進めていく。



▲循環型エネルギーに



たなか みえこ 田中 三恵子 議員



# 物価高騰支援対策

## 広く公平に支援（町長）

**問** 重点支援地方交付金を活用した物価高騰支援策として、本町では水道基本料金2カ月分減免による負担軽減策が実施された。当町の水道普及率は95%だが5%は何件分か。

**答** 町長 45件程度と推定している。

**問** 公平性の観点から、基本料金減免対象外の方への支援策はあるか。

**答** 町長 広く公平に支援を行ったが、今後は改めて考慮し、次回は検討したい。

**問** 今回は住民一人当たり1万円の商品券配布という厚い対策が取られた。プレミアム商品券の販売の場合、一冊が高額なため購入のハードルが高いという意見がある。今後、少額

**問** 当町初の定住者である協力隊OBの方が、新たなメンバーの受け入れ窓口となり、地域とつなぐ橋渡し役を担っている。

**答** 町長 令和8年度はより専門性を持った、幅広い人材の募集を行った。

**問** 好循環を生むチャンスと捉え、中間支援の役割が仕事として成り立つ仕組みづくりを後押ししては。

### 地域おこし協力隊

**問** 現在の、地域おこし協力隊の方々が活躍している。若い人材による地域の活性化をさらに推し進めるため、観光資源開発やイベント企画運営、地場農産物の商品開発、福祉支援、教育支援などテーマ別に、幅広い人材の募集を開始してはどうか。

**答** 町長 実施に係る検討は可能だが、実現性は事業に掛かる経費や事業効果を勘案し判断する。



▲地域おこし協力隊・本格始動!!

**問** まちづくり政策課長引き続き町も連携、支援しながら、一緒に活動を進めていきたい。

**答** 町長 最終的に仕事として成り立つゴールがあることが、安心して定住につながると思う。協力隊希望者に当町を選んでもらうポイントは、

**問** まちづくり政策課長OB隊員のサポートがあり、活動していく中で「仕事という目的も地域の方とのつながりで見つけていける」という実績も残していけば、当町を選んでもらえるポイントになると考える。



あかま しげゆき 赤間 繁幸 議員



# スーパーマーケット誘致

## 現時点において交渉中（町長）

**問** スーパーマーケットの閉店により、生活に不便を感じている町民が多くいる。早急に誘致をすべきであり、現時点での状況を伺う。

**答** 町長 これまで複数社と交渉を行ってきた。本町の地理的優位性、幹線道路の交通量が多く来店客が見込めること、移動販売車支援などの出店メリットをアピールし、交渉を重ねている。

**問** 事業者の採算確保のため、何らかの支援が必要である。町の考えを伺う。

**答** 町長 用意しなければならぬと考えている。具体的な支援内容は事業者の意向を踏まえ検討していくことになるが、出店に対する負担感を軽減し、メリットを際立たせることができ

**問** 管理されていない「空き家」は周りの住環境を悪化させてしまう。町が解体を促すよう支援が必要である。管理されず、再利用の厳しい空き家の件数は把握しているか。

**答** 町長 空家台帳に登録している件数は140件となっている。

令和6年度に所有者へアンケート調査を行った。回答のあった61件のうち、33件が空き家であり、そのうち状況に問題がある空き家が22件あることを確認している。

今後、専門的な知見を有する民間企業や団体と連携し、個別の空き家調査も含め、総合的な空き家対策を進めていく。

### 管理不全空き家の対策

れば、出店の実現性に近づくものと考えている。



▲買い物しやすい町づくり

**問** 管理されていない空き家を解体する場合、町からの補助はあるのか。

**答** 町長 老朽化し危険な空き家を解体することは、所有者の経済的負担が大きいため、そのことが空き家除却の阻害要因の一つとなっ

ていることは認識している。今後、国の補助事業活用や、町独自の除却補助制度の創設について、先進自治体での事例も調査し、本町に合った効果的な手法を検討していく。



# 追跡レポート



## 企業誘致の推進を

### これまでの意見・提言等

- ・企業誘致に向け環境整備を早急に図られたい。  
(令和6年9月定例会 決算審査特別委員会意見提言より)
- ・どのような業種へ企業訪問をしているのか。  
(令和7年3月定例会 一般質問より)

企業訪問先の業種については、自動車関連等の金属加工業、コンクリート製造業、養鶏業、食品加工業、半導体関連等の建設業、金属製品業、リサイクル業、陸運業などの企業を訪問している。  
(令和7年3月定例会 一般質問より)

## その後の対応と今後の計画

令和7年度においては、産業用地適地調査を実施しており、調査を踏まえて、産業用地の候補地選定に向け準備を進めております。  
産業用地の整備までは長期的なスケジュールとなりますが、引き続き自動車および半導体関連企業等の企業を中心に訪問を行い、投資情報や事業用地ニーズ等の情報交換を行ってまいります。

商工観光課



▲新たな工業団地の造成を

## 縁の郷・ふれあい農園の活用は

### これまでの意見・提言等

- ・10月から休業している「縁の郷」について、町の考えを伺う。  
(令和6年12月定例会 一般質問より)
- ・縁の郷・ふれあい農園の今後の有効活用を早急に示されたい。  
(令和7年3月定例会 予算審査特別委員会 意見提言より)

指定管理者が撤退したことから、現在はプレオープンという形で町の直営管理となっている。「縁の郷」を有効に活用していくため、早期に新たな指定管理者を選定していく。  
(令和6年12月定例会 一般質問より)

## その後の対応と今後の計画

「縁の郷」は、施設全体を一括運営する内容で公募を2回（令和7年1月・令和8年1月）実施しましたが、応募事業者はありませんでした。  
これまでの「施設全体の一括運営」から「施設ごとの個別活用」も視野に入れ、町内外の方に活用していただけるよう引き続き広報活動を実施し、持続可能な運営体制の構築に向けた検討を進めてまいります。  
「ふれあい農園」は、今後、個人利用者に加え、法人や団体の利用も積極的に受け入れ、多様なニーズに応えられるよう、町として募集を行い、利用者増を図ってまいります。

商工観光課



▲縁の郷 coworkingスペース

## 教育民生 常任委員会

2/6

## 長寿化対策の取り組みについて



▲役場第3委員会室にて

### 【調査の概要】

令和8年2月6日(金)に役場において、保健福祉課長・町民課長より長寿化対策の取り組みについて説明を受け調査した。

### 【意見】

県内35市区町村のうち、当町の有病率は高血圧症、脂質異常症、糖尿病、脳血管疾患で1位～3位、歯周疾患は15位、平均余命や平均自立期間は32位～34位である。町の重要課題として、引き続き長寿化対策に取り組まれない。

#### (1) 生活習慣病の予防対策

- ・生活習慣病予防・改善教室等の開催を増やし参加者の増加に取り組まれない。
- ・関連する担当課が横断的に連携し、一体的に年間計画のもとで、総合的・多角的・効率的な事業を展開されたい。

#### (2) 口腔ケア

- ・生活習慣病リスクを高める歯周病について、全世代への周知・啓発に努められたい。

#### (3) 大郷町いきいき100歳体操

- ・町内全域での開催を目指して町としても後押しを行い、行政区への働き掛けや、活動紹介などによる周知・啓蒙を検討されたい。

#### (4) 人材確保

- ・人材確保の困難さは課題だが、募集要件を緩和し、短時間勤務やアルバイト雇用なども含めた働きやすい雇用環境を整備し、人材確保に努められたい。

次回は「部活動の地域移行について」を調査します。

## 総務産業 常任委員会

2/4

## 鳥獣被害対策について調査



▲役場第3委員会室にて

### 【調査の概要】

令和8年2月4日(水)に役場において、農林振興課長より鳥獣被害対策について説明を受け調査した。また、黒川猟友会大郷支部の方々から活動内容や課題について説明を受けた。

### 【意見】

#### 1. 全般

イノシシによる被害件数やクマの目撃件数が増加傾向となっている。大郷町鳥獣被害防止計画に基づいた被害防止施策を実施されたい。

#### 2. クマへの対策

- ・クマの目撃情報は地図上にプロットし、地図上で全体を概観し、季節変化や前年比較も行ってクマの動きを推測する取り組みを継続されたい。
- ・里山から市街地や住宅地への侵入経路を想定し、出入りの監視ポイントを設定して「来たら分かる」対応を検討されたい。
- ・クマ対策は駆除と防除の組み合わせが不可欠となっている。農地や住民をクマリスクから守る「地域防災」の視点による対応を検討されたい。

#### 3. 猟友会への対応

- ・町から猟友会に対する活動経費の支払いが1年後となっている件については、令和8年度中の改善に取り組まれない。他町村の取り組みを調査し、県からの交付金を待たずに、町独自での支払いも検討されたい。
- ・電気銃の充電器に必要な燃料代や、ハーフライフル銃の射撃練習時の弾代など新たな費用も発生している。今後、費用の補助について検討されたい。

次回は「森林整備について」を調査します。

# 住民の 声

## 大郷町の魅力を発信



みやざわ だいち  
宮澤 大地 さん  
(羽生)

大郷町に住んでいて、私が中学から続けている卓球を通して多くの人と触れ合い、地域の人たちがとても温かく、心が安らぐ町だと感じています。このような人とのつながりの強さは、大郷町の大きな魅力だと思えます。

しかし、他の町に行く際にはバスの本数が少なく、また部活動のある土曜日や日曜日に利用できないこともあり、不便さを感じる場面がありました。そこで、バスの本数を増やすことで、住民が他の町や学校、商業施設、医療機関等へ行きやすくなり、利用者の増加や地域全体のアクセス向上につながるのではないのでしょうか。

さらに、若者を中心にSNSを活用し、実際に暮らしている人の声や日常の様子を発信することで、大郷町の温かい雰囲気や魅力をより多くの人に伝えることができます。

こうした取り組みによって地域の活性化が進み、今後の大郷町のさらなる発展につながることを期待しています。

## 2/24 黒川消防署新庁舎を視察



## 委員会を設置しました

### 町議会解散請求に関する 調査特別委員会

委員長 鈴木 利博  
副委員長 佐々木 和夫

#### 【目的】

町議会解散請求に関する調査

#### 【委員の定数】

11名（議長を除く全議員）

## 次回 定例会

予定 6月2日(火)から  
午前10時～  
6月5日(金)まで

ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube（ユーチューブ）」にて、配信しています。右記のQRコードよりご覧になれます。



## 編集後記

令和8年度の予算を審議した3月定例会号をお届けします。補正予算の審議も含め、膨大な資料と向き合い、住民の皆さまの暮らしに直結していることを再確認した日々でした。

3月はまた卒業の季節でした。立派に成長された卒業生の姿に、保護者の皆さまとも思いを重ねて感涙、感涙。4月には桜咲く入学式、そして爽やかな新緑の頃に5月号としてご覧いただくこととなります。

私も心に新しい風を取り入れながら、皆さまと共に大郷大好きネットワークで新年度スタートしてまいります！

田中三恵子

## 広報広聴常任委員会

委員長	高橋 重信
副委員長	鎌田 暁史
委員	鈴木 安則
	赤間 繁幸
	鈴木 恵子
	田中三恵子